

議員（兼若 幸一）

4番 兼若 幸一です。

1つ、三木教育長の方針について、2つ目、多度津町都市計画マスタープランについて、一問一答方式でお願い致します。

まずはじめに、三木教育長の方針についてお伺いしたいと思います。

三木教育長におかれましては、多度津中学校教員、西部教育事務所主任管理主事、多度津小学校校長、多度津中学校校長として、本町の児童・生徒のために教育現場で熱心に取り組んで頂き、今後は将来の多度津町を担う子供たちのために教育長としてのご活躍に大変ご期待を申し上げます。

まず1つ目、多度津町の児童・生徒に対する教育についての教育長のお考えをお伺い致します。

教育長（三木 信行）

兼若議員の多度津町の児童・生徒の教育についてのご質問に答弁をさせていただきます。

本町の児童・生徒は、午前中の答弁の中でも触れましたが、穏やかな町民性や地域の繋がりに支えられて、多くの子供たちが明るく素直で仲間や先生たちと良い関係を築きながら学校生活を送っています。そして、学業やスポーツに真剣に取り組み、児童会、生徒会活動、ボランティア活動などの様々な場面で活躍する姿をたくさん見てまいりました。改めて、教員として本町の児童・生徒の教育に長く携わることができたことを幸せに感じております。

さて、S o c i e t y 5.0のキーワードで示される劇的な変化の時代を生きる子供たち、また今しばらくはコロナ禍という大きな困難と向き合いながら学校生活を送る子供たちが明るい未来を描き、幸せになるためには、減点主義ではなく、旺盛なチャレンジ精神を持ち、他者とともにイノベーションを起す創造型の人として育つことが求められます。そのような児童・生徒たちの成長した姿を描きながら、今に止まることなく、全ての教育活動で工夫と改善を行うことが必要です。これまで積み上げてきた取り組みの良さは大切にしながらも、教育効果を停滞させるマンネリ化、ルーティンな教育活動を見直し、工夫、改善を行いながら、子供たちにとって学ぶ楽しさを、教職員にとって教育に関わる喜びを感じられるような学校づくりを支援していきたいと考えています。

以上、答弁とさせていただきます。

議員（兼若 幸一）

2つ目です。

感染コロナウイルスの影響で休校が続いたことにより、授業時間の確保のため夏休みの短縮、総合学習時間の削減、運動会、宿泊学習、修学旅行、プー

ル等の体験学習やイベント行事、地域との交流活動などの縮小、中止等を試行錯誤されていると思いますが、体験学習、イベント行事、地域との交流活動については、児童・生徒にとっては大変重要な要素と考えますが、教育長のお考えについてお伺い致します。

教育長（三木 信行）

兼若議員の体験学習、イベント行事の開催等についてのご質問に答弁をさせていただきます。

兼若議員のご指摘のとおり、児童・生徒にとって体験学習や学校行事は、一人ひとりの活動の場があったり、目標を達成する喜びを学んだりすることができる大切な機会となっております。しかし、本年度は学校が感染症予防のため休業し、31日間の授業日が失われることとなり、例年どおり体験学習や学校行事を行うことは難しい状況になりました。このような状況ではあります。子供たちの声や保護者の方と相談をしながら、今後の体験学習や学校行事の持ち方や内容につきましては考えていくように各学校に指示をしており、一律に行事等を中止や縮小するというのではなく、その時の感染状況を踏まえたり、年度末に向けての各校の教育課程の進捗状況を確認をしたりしながら、実施する、しないを判断するようにしております。感染状況が落ち着いておりましたら、3密にならないように配慮することを確認したり、県教委より示されている学校再開時の感染症予防のガイドラインをもとに企画運営に努めたりして、子供たちの健やかな学びを保障することを目的に、学校行事の開催につきましては慎重に、適切に検討をしております。

以上、答弁とさせていただきます。

議員（兼若 幸一）

3点目です。

新型感染コロナウイルスによる休校で学習環境の整備が改めて必要になってきましたが、政府の前倒しによるG I G Aスクール構想で、ある一定レベルまでの整備は可能でしょうか、多度津町としてはどのレベルまでの環境を目指しているのか、また環境の整っていない家庭への負担についてはどうするのか、今後の運営において家庭への負担が発生した場合にはどうするのか、教育長の考えをお伺い致します。

教育長（三木 信行）

兼若議員のG I G Aスクール構想における学習環境の整備についてのご質問に答弁をさせていただきます。

本町では、今年度G I G Aスクール構想の実現として、校内L A N設備を増強するとともに、児童・生徒に1人1台の端末を整備する予定です。これにより、学校内におけるI C T環境については一定の水準まで引き上げられるも

のと考えております。しかしながら、オンライン授業を実施するとなると各家庭のインターネット環境が整っていることも重要となることから、現在各家庭のインターネット環境を調査しております。その結果を踏まえ、インターネット環境が整っていない家庭に対しては、子供たちの学習機会が均等に確保されるよう支援策等を検討してまいります。

以上、答弁とさせていただきます。

議員（兼若 幸一）

再質問ですが、多度津町としては、どのレベルまでの環境を目指しているのか、お答え頂きたいと思います。

教育長（三木 信行）

兼若議員の多度津町としては、どの程度までを目指しているのかという質問に対して答弁をさせていただきます。

今回のG I G Aスクール構想というものにつきましては、大きな目的は一人ひとりの学びについて個別最適化を目指すというものでございます。また、片方で、オンライン授業ということについては、それを実現するということが目的としております。そこを目指しております。オンライン授業としては、必要なものは、まず一人ひとりの端末が必要であります。それは、家庭で整備されている場合もありますし、そうでない場合は、今回のG I G Aスクール構想によって配備された整備されたタブレット端末等を配布するという方法がございます。もう一つは、家庭に配信する通信容量、これは今回のG I G Aスクール構想が実現されれば、これは確実に容量はかなり大きくなってそれが実現できると思います。あとは、家庭のネット環境ということになります。これについては、調査に基づいて、どのような形で子供たちに機会均等の環境を作ることができるのかというところが一つの課題になるだろうと思います。午前中も申し上げましたが、通信料を各家庭で持って頂くのか、ある程度基準を設けて、町の方が負担するのかというところは、これから十分見極めていく必要があります。例えば、坂出附属小学校の方でひとつS k y p eというウェブ会議システムを使った実例があるのですが、明確なことは申し上げられないんですが、1授業については200円単位の、そういうパケット料が必要になってくるということですので、もしもそれが例えば、使い放題のネット環境は問題がないのでありますけれども、そうでなければそういう費用がかかるということになっていく訳で、そういったところをどうやっていくのかというのが検討されなければいけないところだと思います。ただ、午前中も申し上げましたが、G I G Aスクール構想によって、物が整備されれば、あと教員のスキルアップによって実現できるという風に考えております。以上でございます。

以上、答弁とさせていただきます。

議員（兼若 幸一）

再質問をさせていただきたいと思います。

教育長は、既に三豊市の方で行われた、そういう授業について視察をされたとお伺いしておりますが、その三豊市のそういう環境ぐらまでのレベルとお考えなんでしょうか。それとも善通寺、坂出、丸亀、三豊に負けない、多度津はやはりすごいなというぐらまでのレベルを目指しているのでしょうか。その辺をお伺いしたいのと実際に三豊市での授業風景を視察されて、その感想をお伺いしたいと思います。

教育長（三木 信行）

兼若議員の再質問についてお答えを申し上げます。

まず、周辺の市町に対して多度津町はどの程度のことを目指しているのかというようなことですが、競争をして、他の市町よりも是非ここまでという風なことではございませんで、他の市町の取り組みを参考にしながら、多度津町も適切に整備をしていきたいという風に考えております。

三豊市の方を訪問させていただいた時、町長様とも共に見せて頂いたんですけども、かなり以前のことになりまして、それから先また三豊市も新たに進展をしております。あの時点では、三豊市はオンラインによって端末がない生徒は家に持ち帰らせて、「帰りの会」「朝の会」というところで15分程度のオンラインで双方向に画面でお互いの顔を映して通信をしておりました。ただ、その時点では、原因はよく分かりませんが、通信量の問題とか、機械の問題もあったと思いますが、全ての端末にうまく通信ができていたのかというと、そうではなかったような状態で、その後、改善されているのではないかと考えています。

今後、オンラインにするためには、先ほど申し上げましたが、ウェブ会議システムというものを導入する必要があります。善通寺市は、Z o o mというシステムを導入して、私の知っている限りにおいては、現段階では家庭には配信をしていないで、分散授業の同じ校内の違う教室にウェブ会議システムで授業を行ったという風に聞いております。

多度津町内では既に午前中に申し上げましたが、5つの小・中学校にはZ o o mというシステムは、もう導入をしております。また、多度津中学校、多度津小学校には、希望がありまして、W e b e x、四箇小学校にはS k y p e を使えるような状況にはしております。ですから、今後、教職員の方がそのスキルをアップしていけば、十分オンラインの配信はできると思っております。色んな技術的な側面はあります。例えば、音声をオン・オフすることによっても容量を縮小することができます。一律にずっと対面で顔を映し合

うとなると容量を使ってしまうので、なかなかうまくいかないとか、そういう技術的な問題があると聞いております。

もう一つ、教育課程ということを考えて時には、対面の授業がやはり大切であると考えています。たちまちオンラインの授業がそのまま教育課程の代わりになるという風にはなかなか考えられない状況であるということも申し添えたいと思います。

以上、答弁とさせていただきます。

議員（兼若 幸一）

次、4点目です。

全国中学校総合体育大会、香川県中学校総合体育大会は、既に中止が決定されております。中学校3年生にとっては、3年間の部活の成果を発揮すべき最後の場が奪われてしまいました。郡市大会の開催に向けて、特にサッカーに対する思いが強いだらうと思われる教育長のお考えについてお伺いを致します。

教育長（三木 信行）

兼若議員の中学校総合体育大会等の郡市大会の開催についてのご質問に答弁をさせていただきます。

中学生にとっては、総合体育大会は、自分を成長させるための目標であり、また自分の力を試す最大の機会でもあります。しかし、今回の決定は、生徒たちの安全を最大限に考え、苦渋の決断ではありますが、中止の決定をした旨を伺いました。これまで一生懸命部活動に取り組んできた生徒たち、特に3年生の気持ちを考えると、力を発揮する機会や目標となるものが設定されればとの気持ちではありますが、県大会や郡市大会等の開催につきましては、県、郡市の中学校体育連盟、校長会等が中心となり企画運営を行っており、総合的な判断から、例年どおりの大会を開催することは難しい状況となりました。しかし、先日、県立学校の部活動等の開催につきまして、7月1日以降、感染状況を見て新しい生活様式を導入し、感染及びその拡大のリスクを可能な限り低減しつつ、代替の試合や交流会等を行うことも可能であるという周知がありました。それらのことも踏まえ、現段階ですが、仲多度・善通寺地区の中学校では、安全対策を確実に行うことと3年生の思い出づくりをとの共通理解のもと、体育連盟と校長会の努力で全ての競技で交流試合を計画し、その実施に向けて検討をしているとのことでした。

以上、答弁とさせていただきます。

議員（兼若 幸一）

是非とも開催に向けてご尽力頂きたいと思っております。

次、5つ目です。

幼稚園、小学校の適正規模、適正配置について、教育課題検討委員会報告書が平成30年3月、教育委員会に答申をされ、それを受けた教育委員会は平成30年7月31日に適正規模、適正配置に係る基本方針を策定しております。教育課題検討委員会の委員として、平成29年4月より関わっておられました教育長にとって最も関心のあることと思われまます。適正規模、適正配置、今後の予定についての教育長のお考えをお伺い致します。

教育長（三木 信行）

兼若議員の幼稚園、小学校の適正規模、適正配置についてのご質問に答弁をさせていただきます。

幼稚園、小学校の適正規模、適正配置につきましては、私自身も教育課題検討委員会の委員として会議に出席をしておりましたので、本町の園児数及び児童数の減少や施設の老朽からも勘案しますと本町の喫緊の課題だと認識をしております。

教育委員会と致しましては、平成30年4月に策定致しました基本方針にあるとおり、速やかに再編に向けた準備に着手し、特に急がれる幼稚園の再編について早期に開園できるように取り組んでまいりたいと考えております。

以上、答弁とさせていただきます。

議員（兼若 幸一）

小学校については、どのようにお考えでしょうか。教育長のお考えをお伺い致します。

教育長（三木 信行）

それでは、兼若議員の再質問について答弁をさせていただきます。

本職に、今の職に就任致しまして2ヶ月たちますが、この間の経緯については教育課長の方から報告を受けております。現段階でこうであるという明確な答えは、なかなか申し上げにくいところではありますが、小学校に向けても今後場所をどこにするのか、それは新しい土地を求めるのか、今ある町の土地を活用するのか、あるいは財政的な課題もあろうかと思えます。大切なことは新しい校舎を建てて、新しい園や学校を造るとなると、今後50年は使える体制、あるいはこれからの教育や保育の内容を考えて十分機能も対応もできるものでなくてはならないものと考えております。十分な検討を尽くさず、拙速に決定するというのみに固執せずに、十分検討していかなければいけないと思っております。また、町全体の公共施設の総合的な計画においても、全体像を視野に置いて、こういった個別の施設の計画をしていく必要があると考えております。

以上、答弁とさせていただきます。

議員（兼若 幸一）

ここに、多度津町立幼稚園・小学校の適正規模、適正配置に係る基本方針30年7月31日に多度津町教育委員会が出された資料があります。その中の幼稚園の適正規模については、1学級園児6名以上、学級定員は年少25名、年中30名、年長35名以下とする。園の標準規模については、1学年に複数の学級が編制できる。異学年間の複式学級の実現は避ける。適正配置については、現行の4園から、幼稚園1園に再編する。再編の時期については2020年度開園を目標とすることが望ましいとされているが、現状では厳しい状況にあることから、速やかに再編に向けた準備に着手し、早期に開園できるよう最大限努力するとあります。小学校については、適正規模については、学級の標準規模として35人から40名の規模とする。これは、国の基準となっております。学校の規模については、1学年2学級から3学級の規模、学校全体として12学級から18学級とする。これも、国の基準となっております。適正配置については、現行の4校では先の適正規模を満たすことが困難なことから、小学校の再編は必要であり、今後検討委員会答申や幼稚園の再編状況を考慮し、再編後の学校数等の適正配置については、慎重な協議検討を行い決定するで、再編の時期です。まずは、幼稚園を再編を先行実施すべきであり、小学校については2020年代前半開校を目標とすることが望ましいとされていることを踏まえ、最大限努力するという風に明記されております。多度津町教育委員会が出されたものですが、この内容を踏まえて教育長としては、先ほどのご答弁ということでしょうか。お考えをお伺い致します。

教育長（三木 信行）

兼若議員の30年7月に策定しました基本方針、それについての考えについてどうなのかというご質問について答弁をさせていただきます。

議員のご指摘のとおり、当時の答申によって、幼稚園は1園が適切であろう、それから小学校につきましては、国の出している基準によって、大体1つの学校について2クラスから3クラス、1年学年が適切であるということから、町内2校案というのが大きく、そこには答申をされたという風に記憶をしております。その後、議会等、多度津町の方で色々な議論の中で、また今後、先ほどありました人口推計等も勘案しまして、また色々な考え方があるという風に聞いております。そういったところのご意見も頂戴しながら、またご相談をさせていただきますながら、なるべく速やかに計画等を決定していきたいと思っております。

以上、答弁とさせていただきます。

議員（兼若 幸一）

今の国の基準を満たしていない学校もあるように思われますので、できるだけ速やかに、当然、町の財政等の兼ね合いもあるとは思いますが、子供た

ちは多度津町にとって将来を担う非常に大切な宝でありますので、是非とも子供たちのためにますますご尽力を頂きたいと思っておりますので、よろしくお願い致します。

2つ目についての質問です。

多度津町都市計画マスタープランについてお伺いします。

現在、見直しをされているマスタープランの公園緑地の整備方針において、新たに設置する公園については防災機能を備えた多世代が交流できる公園を目指しますとありますが、豊原地区には道福寺公園（仮称）、四箇地区には天霧山東面のキャンプ場や公園の整備が計画をされております。

まず1点目の質問なのですが、道福寺公園（仮称）は、駐車場、トイレ、遊具が設定された公園でしょうか。子育て世代が利用できる公園でしょうか。公園の規模、設備、公園の整備時期等の概要についてお伺い致します。

町長（丸尾 幸雄）

兼若議員の道福寺公園、これは仮称ですけども、この規模、設備、整備時期等についてのご質問に答弁をさせていただきます。

当該公園の用地につきましては、県発注の県道多度津丸亀線地方道路整備事業の道福寺地区新池埋立工事の実施に併せて道福寺地区の地元要望により、新池の一部を地域のコミュニティーの場として公園整備を目的に埋め立てをしたものであります。兼若議員のご質問のとおり、現在進めております都市計画マスタープラン見直しにおいて、まちづくりの個別方針の公園緑地整備方針では、新たに設置する公園については防災機能を備えた多世代が交流できる公園を目指しております。この公園については、県の道路整備との調整を図りながら、公園整備を進めたいと考えており、駐車場、トイレ、遊具の設置などの計画につきましては、現在のところは事業計画の策定に向け準備を進めている段階で、詳細についてはまだ決定はしておりません。公園の規模につきましては、用地面積で約3,000平方メートルであります。今後の公園整備の予定につきましては、今年度に基礎地盤の整備について準備を進めており、来年度に測量、計画、設計を予定しているところであります。公園の整備につきましては、地域の方のご意見もお聞きしながら計画を進めたいと考えております。また、県立多度津高校の創立100周年記念事業として建築科が主体となり事業の体験実習で公園内の東屋を建設する予定となっております。

以上、答弁とさせていただきます。

議員（兼若 幸一）

多度津町は、非常に公園が少ないと子育て世代からの意見も多くありますので、是非とも子育て世代が安心・安全で遊べるような公園づくりを目指し

て頂きたいと思っております。

次、2つ目ですが、この道福寺公園（仮称）、また四箇地区に整備される天霧山東面のキャンプ場や公園の管理について、地元自治会への管理の負担のないようお願いしたいと思っておりますが、町のお考えをお伺い致します。

建設課長（三谷 勝則）

兼若議員の公園の管理についてのご質問に答弁をさせていただきます。

今後の公園の計画につきましては、公園施設の機能や利用者への均衡を図った総合的な利用に供する都市公園としての整備を検討しております。原則、町が管理する公園と考えております。公園整備につきましては、都市計画マスタープランにもありますように、災害時の一時避難場所など、防災機能を備えた施設も検討し、地域はもとより、多くの町民の皆様に多目的に利用頂ける多世代が交流できる公園を目指して、早期完成に向け計画、整備を行ってまいりたいと思っております。

以上、答弁とさせていただきます。

議員（兼若 幸一）

何回もお話が出ておりますが、多度津町は非常に財政が厳しい町ではありますが、多度津町に住んで良かった、また、これから若い子育て世代が多度津町に住んでよかったと思われる町を目指してほしいと思っております。

以上で4番 兼若 幸一の質問を終わります。